

〔曲名〕 Care Memorie

懐しき追憶

〔曲種〕 valzer

〔作曲者〕 Giuseppe Filippa

ジュゼッペ フィリッパ

〔編曲〕 Jiro Nakano

中野二郎

本百曲選第五集で怯える小鳥を紹介したが本曲は初期の作品と目されるワルツで原曲は1898年出版せられた吹奏楽曲。

マンドリン合奏曲ではムニエル、グラツィアーニワルテル、ベルレンギ、サルトーリ等の書いたワルツは数多くあり、

部分的に魅惑を感じるものは多いが一曲全体では冗漫に流れるきらいがある。

本曲は序奏と五つのワルツに終曲を加えると可成りの長さになるが単純な手法の中に夫々の美しさがあがり旋律が魅力的である。

ワルツでは何と云ってもヨハン・シュトラウスやワルドトイフェルの名曲が光っているが白紙に還って本曲を観賞されたい。

マンドリン合奏ではギターはリズムを受持つのが通例になっているが本曲では所々で旋律を担当して貰った。

作者との関連はわからないがカロリーナ・プリオーラ嬢に捧げられたワルツで一つ一つに作者の思い出が語られているようである。

流れるように歌うように運びたい。

1970年7月20日発行

イタリアマンドリン百曲選第7集より